授業の玉手箱

語彙活動：可視化してモーティベーションアップ

東條　加寿子

下の図は、Wordle（http://www.wordle.net/）というアプリケーションで作成した語彙模様（筆者の造語）です。Wordle に英語テクストを貼り付けて GO ボタンを押すと、瞬時に単語の頻度が活字の大きさに反映された語彙模様がアウトプットされます。フォントや色彩、レイアウト（horizontal vs vertical）をカスタマイズしてデザインを楽しむことができます。

この語彙模様を使って、様々な語彙活動が可能です。Before reading 活動としては、キーワードを確認する、何について書かれているかを brainstorm する、品詞ごとに知っている単語を列挙するなどの活動が考えられます。また、この語彙模様を見ながら、要約を試みるといった after reading 活動はどうでしょうか。ただし、Wordle が創造する語彙模様では、名詞の単数形と複数形、動詞の原形・過去形・過去分詞形がそれぞれ異単語として認識されるという問題があります。さらに、単語の出現頻度が忠実にデータ処理されるために、学習者にとっての新出単語が必ずしも大きな文字で表されるわけではないことにも留意が必要です。

新出単語にフォーカスして語彙増強を図りたい場合は、意図的な編集を行うことが有効です。編集のために、まず、当該 reading passage を VocabProfiler（http://www.lextutor.ca/vp/）にかけて語彙レベル別に分類します。次に、例えば 3000 語レベル以上に分類された単語について、教師が学習者に学んで欲しい語彙を厳選し、学習の重要性の重みづけが文字の大きさに反映されるよう、Wordle の Advanced ページ（http://www.wordle.net/advanced）で編集すると、下のような語彙模様ができます。

Wordle も VocabProfiler も、操作が容易で利便性が高いことが最大のメリットです。語彙を可視化することによって、語彙活動の新たな視点が発見でき、学習者のモーシベーションアップが図れます。ところで、これらは何のテクストの語彙模様かお分かりですか？ここでは例として、かの有名な「16 才の少女の国連演説」のスクリプトを用いました。

書籍紹介

『英語の冠詞　その使い方の原理を探る』
樋口昌幸（著）開拓社 2009 年　1,944 円 213 ページ

今年春学期の「事前・事後指導」において、ある学生が冠詞の使い方について指導案を作成する際に参考図書として推薦し、クラス全体で該当箇所をレビューした一冊です。発行年度は 2009 年ですので、若干時間は経過していますが、わかりやすい原則と豊富な例示で冠詞の使用を解説しています。初歩的な文法では冠詞ナシの play ＋ baseball(競技名) と冠詞アリの play ＋ the ＋ violin（楽器名）をメカニカルに扱いがちなポイントを探求するのに有益です。

例えば、原則Ⅱでは「姿不定は冠詞なし」として、指示物が形を保っている場合は a/an をとり、形を保っていない場合は a/an を取らないと紹介されています (p. 19)。一例を引用しますと、動物とその肉では冠詞の有無が異なります。

a.We had fried chicken for dinner.
b.A male chicken is called a cook and a female chicken is called a hen.

上記の例だけにとどまらずに、単語の表面的な形式だけに注目していては気づきにくいことが紹介されており、私のように英語を第一言語とせずに直観に頼れない教員にも心強い一冊です。イラストやチャートも使用されて、視覚的にも工夫が見られます。もう一つ面白い点は、ほぼすべての原則が上記のように「七五調」で記されていることです。

（夫　明美）

編集後記 / 第 39・40 回勉強会案内

本学の教職フィールドワーク (英国) 引率で英国に 9 月の 2 週間滞在した。その間、新聞やテレビでは、シリアからの難民のことがヨーロッパの国々、英国でも大きな話題になっていた。難民の子どもの死はキリスト教の人々に大きな衝撃を与えた。しかしながら、ヨーロッパの国によってその対応は異なった。英国は二の足を踏んでいた。

Britain Offers a Haven to Child Refugees

Thousands of child refugees from Syria are set to be given new lives in Britain under plans being hammered out in Downing Street today. Cameron at odds with European leaders over plan to help refugees.

グローバル化とは美しいだけの言葉ではないことを実感した。

＊＊第 39 回勉強会「英語の教え方教室」＊＊
2015 (平成27)年10月17日 (土) 14:00 ～ 17:00
「教職フィールドワーク (英国)　報告・課題研究発表」

参加した学生二人が、訪問校で行ったプレゼンテーション、英国で観察した日英文化の比較、教材開発等の課題研究などの3点のまとめを研修の一環として英語で発表する。

＊＊第 40 回勉強会「英語の教え方教室」＊＊
2015(平成 27)年 11 月 14 日 (土) 14:00 ～ 17:00
「私の授業実践―自己効力感を高めたい「英語表現Ⅱ」」

滋賀県立安曇川高等学校の杉浦悠真先生に、英語学習や勉強に対してモチベーションが低い生徒に授業を興味深いものにする実践を話していただく。

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学
教員養成センター Teacher Development Support Center
540-0004　大阪市中央区玉造 2 丁目 26 番 54 号
Tel: 06-6761- 9371　Fax: 06-6761-9373
Homepage: http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc
e-mail: ttc@wilmina.ac.jp